

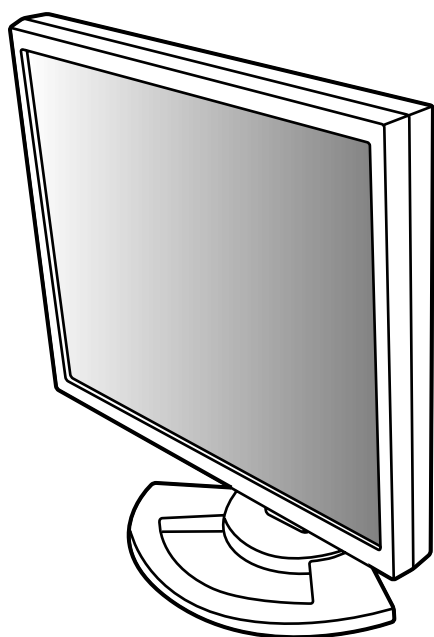
取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-T2015

もくじ

	ページ
はじめに	安全にお使いいただくために 3
	付属品の確認 5
	各部の名前とはたらき 6
	高さ調整・角度調整 7
	接続・電源入／切 8
準備	コンピュータの接続 9
	電源の接続 11
	電源の入れ方 11
	入力端子の切り替え 12
	電源の切り方 12
	画面調整について 13
画面調整	調整値のリセット 13
	調整ロック機能 13
	バックライトの明るさ調整 13
	表示モードの設定 14
	製品情報の確認 14
	画面の調整(アナログ接続時) 15
	画面の自動調整 15
	画面の手動調整 16
	画面の調整(デジタル接続時) 20
	画面調整のしかた 20
補足	お手入れ・保管・アフターサービスについて 23
	お手入れのしかた 23
	保管にあたって 23
	故障かな？と思ったら 24
	アフターサービスについて 24
	お客様ご相談窓口のご案内 25
	仕様 26
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows) 29
	ColorSyncプロファイルについて(MacOS) 32
	VESA規格準拠アームの取り付け方 33



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
- ※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
- ※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
- ※ 本機は付属品も含め日本国内（AC100V）用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

※この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

※この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

- ※ 本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「Windows XP」、Microsoft Windows 2000 を「Windows 2000」、Microsoft Windows Millennium Edition を「Windows Me」、Microsoft Windows 98 を「Windows 98」、Microsoft Windows 95 を「Windows 95」、Microsoft Windows Version 3.1 を「Windows 3.1」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
- ※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
- ※ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- ※ そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

(絵表示の一例です。)



記号は、**気を付ける必要**があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。



雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。



風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。



水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



注意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。



電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。



電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をする、過熱により火災の原因になることがあります。



火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



⚠ 注意

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。



硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。



あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱発火の原因になることがあります。



改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。



健康のために、次のことをお守りください。



- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。（もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。）



内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。



持ち運ぶときは、ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持ってください。

ディスプレイ部だけで持ち上げると、スタンドが急に伸びたり、スタンド部が揺れて、けがの原因になることがあります。また、本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

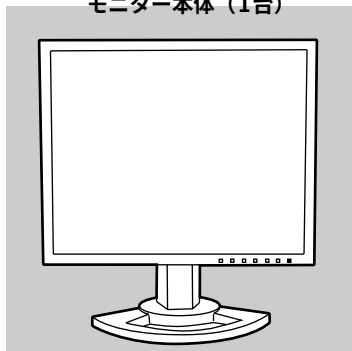


ディスプレイ部とスタンド部の間（特に取り付け部分付近）で指をはさまないようにご注意ください。

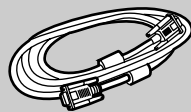
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

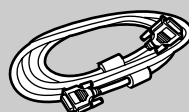
モニター本体（1台）



アナログ信号ケーブル（1本） デジタル信号ケーブル（1本）



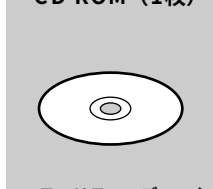
（ミニD-sub15ピン-ミニD-sub15ピン）（DVI-D24ピン-DVI-D24ピン）



電源コード（1本）

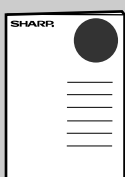


CD-ROM（1枚）



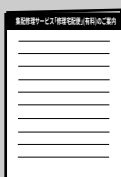
ユーティリティディスク
（Windows/Macintosh用）

取扱説明書（1部）

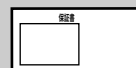


（本書）

集配修理サービス
「修理宅配便」（有料）のご案内（1部）



保証書（1部）



※梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

※CD-ROM内のユーティリティの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

別売品のご案内

品 名				形 名	希望小売価格
ディスプレイ(アナログ信号)ケーブル	DVI-I29ピン	—	ミニD-sub15ピン	NL-C02J	3,990円（税抜価格3,800円）
ディスプレイ(2入力用)ケーブル	DVI-I29ピン	└	DVI-D24ピン	NL-C03J	3,990円（税抜価格3,800円）
			ミニD-sub15ピン		

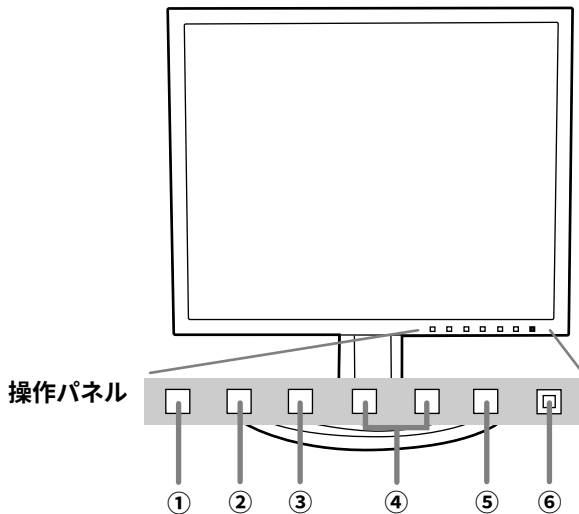
※当社製品販売店にて品名、形名を指定のうえ、お買い求めください。

※希望小売価格は2004年3月現在のものです。

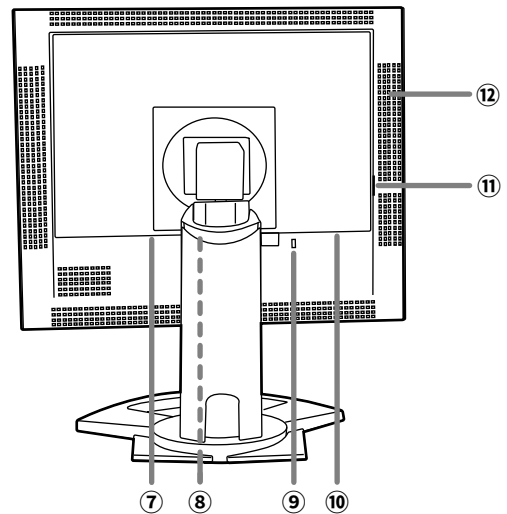
※希望小売価格は予告なく変更することがあります。

各部の名前とはたらき

前面



背面



- ① INPUT ボタン 信号の入力端子を切り替えます。
- ② MENU ボタン 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。
- ③ ▼ / MODE ボタン 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。
調整メニューが表示されていないときは、表示モードを設定します。
- ④ ◀ ▶ ボタン 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。
- ⑤ 電源ボタン ボタンを押して、電源の入／切を行います。
- ⑥ 電源ランプ 通常表示時は緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
- ⑦ DVI-I 入力端子 コンピュータのデジタル RGB 出力端子やアナログ RGB 出力端子と接続します。
(INPUT 2) ※ デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子 (DVI-D 24 ピンまたは DVI-I 29 ピン) を持ち、UXGA 出力が可能なコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)
- ⑧ アナログ RGB 入力端子 付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。
(INPUT 1)
- ⑨ 盗難防止ホール () 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
- ⑩ 電源端子 付属の電源コードを接続します。
- ⑪ 主電源スイッチ
- ⑫ 通風孔 機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがらないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

高さ調整・角度調整

！ ご注意

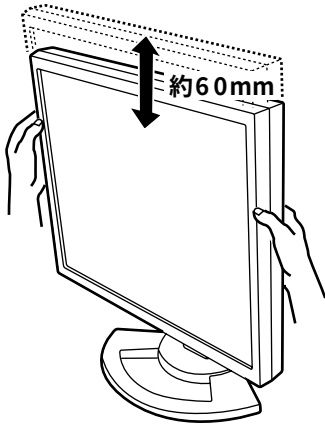
※ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。



指などをはさまないようにご注意ください。

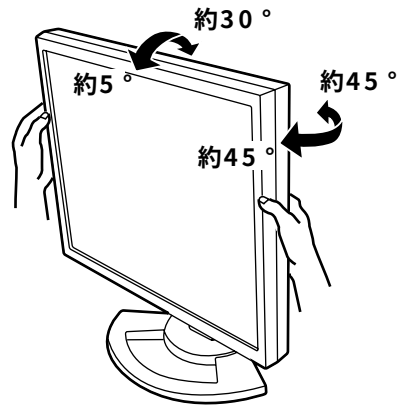
■ 高さ調整

見やすい高さに調整します。



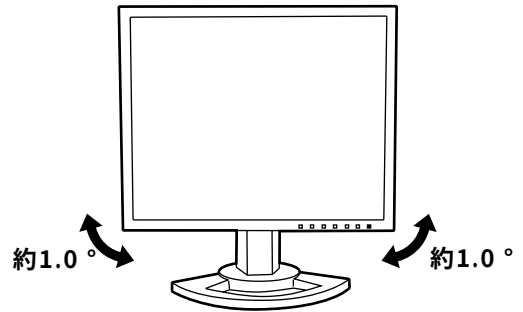
■ 角度調整

見やすい角度に調整します。



? Memo

※ディスプレイ部の傾きを微調整できます。



接続・電源入／切

！ ご注意

※接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

■ケーブルの収納について

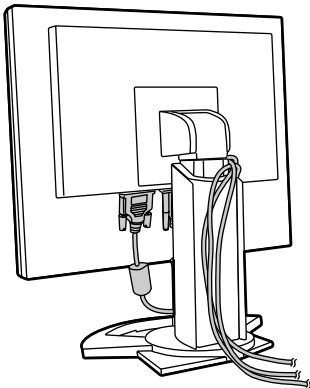
ケーブルは、必要に応じてスタンドに収納することができます。

1. カバーを外す。

カバー上部を静かに手前に引きます。



2. スタンドの背面にケーブルを沿わせる。



3. カバーを取り付ける。

ケーブルをはさまないように注意してください。



※カバーが取り付けにくいときは、無理に取り付けずに、ケーブルがはさまれていないかを確認してください。

コンピュータの接続

付属の信号ケーブルを使って、2 台のコンピュータと接続することができます。（アナログ接続 1 台、デジタル接続 1 台）

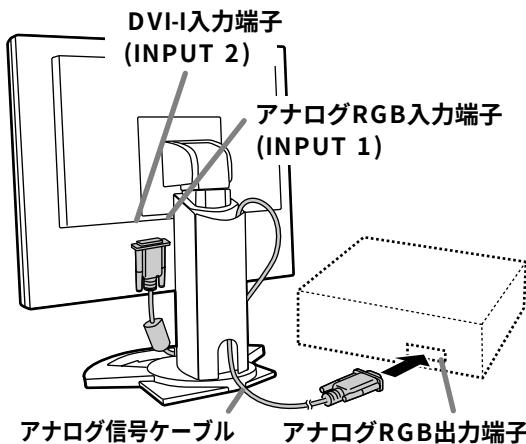
- ※別売の 2 入力用ケーブルを使えば、DVI-I 入力端子に 2 台のコンピュータを接続することができます。
- ※ 2 入力用ケーブル使用時は、「モード選択-2」メニューの「入力-2」を「2 系統」に設定してください。（19、22 ページ）

■アナログ接続

付属のアナログ信号ケーブル、もしくは別売のアナログ信号ケーブル（形名：NL-C02J）を使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。

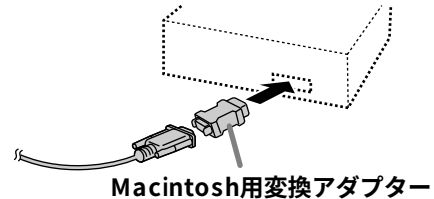
※付属のアナログ信号ケーブルは、アナログ RGB 入力端子（INPUT 1）に接続します。

※別売のアナログ信号ケーブル（形名：NL-C02J）は、DVI-I 入力端子（INPUT 2）に接続します。



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

D-sub15 ピン 2 列の Power Macintosh とアナログ接続をする場合は、アナログ信号ケーブルのコンピュータ側コネクタに Macintosh 用変換アダプター（市販品）を取り付けます。



? Memo

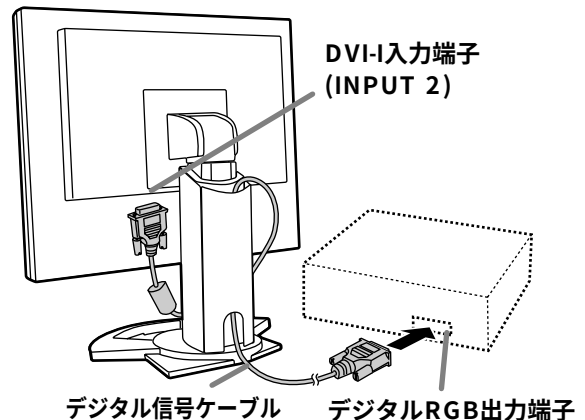
※ Sun Ultra シリーズに接続する場合、変換アダプター（市販品）が必要になることがあります。

■デジタル接続

付属のデジタル信号ケーブルを使って、コンピュータのデジタル RGB 出力端子と接続します。

※ DVI 準拠の出力端子（DVI-D 24 ピンまたは DVI-I 29 ピン）を持ち、UXGA 出力が可能なコンピュータと接続することができます。（ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）

※ デジタル信号ケーブルは、付属のものをお使いください。市販のデジタル信号ケーブルでは正しく表示できないことがあります。



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

Belkin 製 ADC-DVI アダプターを使用して Power Mac とデジタル接続をする場合は、本機で次の設定を行ってください。

(Power Mac G4 M7627J/A で動作確認済み)

※設定は、Power Mac 本体の電源を切った状態で行ってください。

1. 電源コード接続後、モニターの主電源を入れる。
2. ◀ ボタンと ▶ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す (モニターの電源を入れる)。
次のメニューが表示されます。

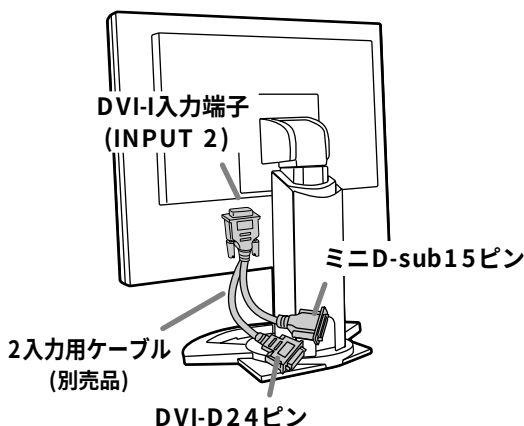


3. 「する」に設定する。(◀ ▶ ボタン)
※ Belkin 製 ADC-DVI アダプターを使用しないときは「する」に設定しないでください。正しく表示されなくなることがあります。
4. MENU ボタンを押す。
以上で設定は完了です。

■別売の 2 入力用ケーブルでの接続

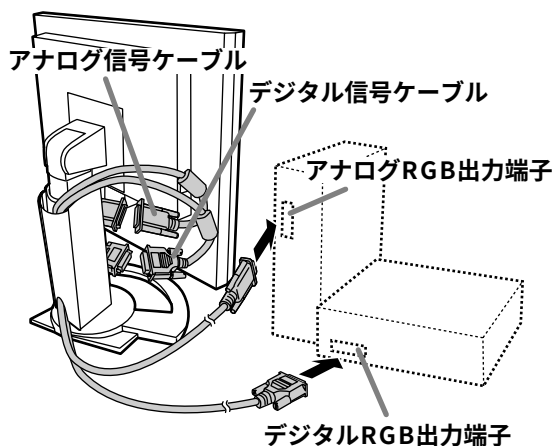
別売の 2 入力用ケーブル (形名: NL-C03J) を使って、DVI-I 入力端子に 2 台のコンピュータを接続することができます。(アナログ接続 1 台、デジタル接続 1 台)

1. 2 入力用ケーブルを本機の DVI-I 入力端子に接続し、2 入力用ケーブルに付属または市販のアナログ信号ケーブルと付属のデジタル信号ケーブルを接続する。



※市販のアナログ信号ケーブルは、両端がミニ D-sub15 ピンのものをお使いください。

2. それぞれの信号ケーブルをコンピュータと接続する。



※コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

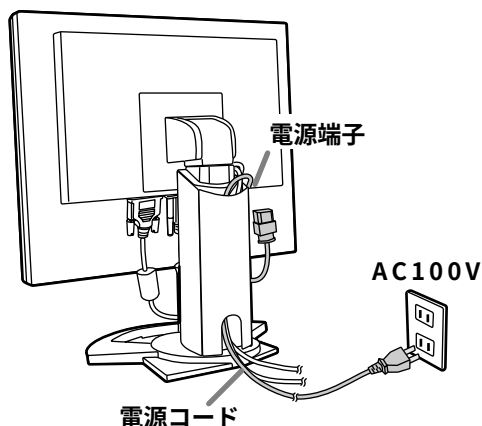
? Memo

- ※ 2 入力用ケーブル使用時は、「モード選択-2」メニューの「入力-2」を「2 系統」に設定してください。(19、22 ページ)
- ※ 2 入力用ケーブルにアナログ接続したモニターは、プラグアンドプレイによる自動認識ができません。手動でセットアップ情報のインストール (29 ページ) を行ってください。

電源の接続

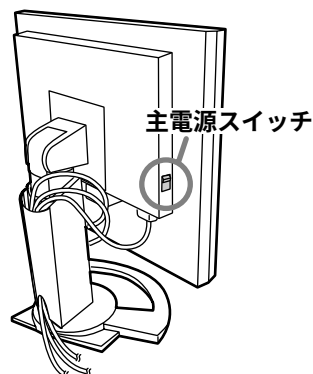
注意 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。



電源の入れ方

1. モニターの主電源を入れる。



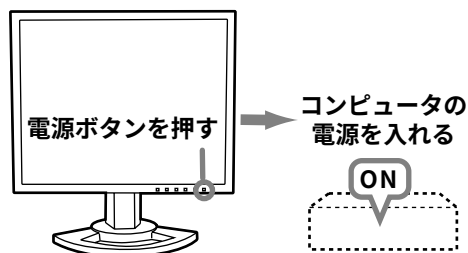
※主電源スイッチ入／切の切り替えは、必ず約5秒以上の間隔を空けて行ってください。急に切り替えると、故障や誤動作の原因になります。

2. モニターの電源ボタンを押す。

電源ランプがオレンジ色に点灯します。

3. コンピュータの電源を入れる。

電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。



電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

※コンピュータが接続されている入力端子が選択されていないと、画面は表示されません。必要に応じて、入力端子の切り替えを行ってください。(12 ページ)

? Memo

※アナログ接続の場合、本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(15 ページ)を行ってください。(デジタル接続の場合は、特に調整の必要はありません。)

※お使いのコンピュータや OS によっては接続先のコンピュータ側でセットアップ情報のインストールが必要になる場合があります。(29 ページ)

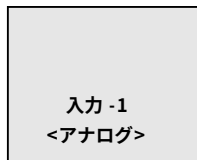
※ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみ表示となるように設定してください。

入力端子の切り替え

INPUT ボタンで、信号の入力端子を切り替えます。

2 入力用ケーブル（別売品）未使用時

アナログRGB入力端子選択時



INPUT
ボタン

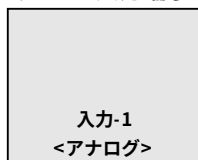
DVI-I入力端子選択時



<アナログ>または<デジタル>

2 入力用ケーブル（別売品）使用時

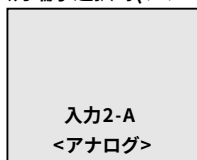
アナログRGB入力端子選択時



INPUT
ボタン

INPUT
ボタン

DVI-I入力端子選択時(アナログ)



INPUT
ボタン

DVI-I入力端子選択時(デジタル)



電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。

コンピュータの
電源を切る



電源ボタンを押す



長時間使用しないときは、モニターの主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

? Memo

※入力信号がない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

画面調整について

アナログ接続時

1. 初めに自動調整をする。(15 ページ)
2. 必要に応じて手動調整をする。(16 ページ)

デジタル接続時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。
必要に応じて手動調整ができます。(20 ページ)

? Memo

※調整内容は、電源を切っても保持されます。

調整値のリセット

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンと ▼ / MODE ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

- ※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
- ※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

アナログ接続時の画面調整メニュー(クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. モニターの電源を入れる。
2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

- ※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
- ※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。

画面に「調整ロック設定中」と表示されるまでボタンを押し続けてください。表示されたら、ロック設定は完了です。

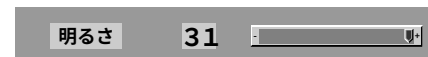
ロック設定の解除

1. モニターの電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。

画面に「調整ロックを解除します」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されたら、ロック解除は完了です。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ または ▶ ボタンを押す。



2. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

表示モードの設定

表示の色合いや明るさをボタン操作一つで切り替えることができます。

標準	液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。
オフィス	輝度を下げて表示します。(消費電力が下がります。)
sRGB	IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

あざやか 原色をダイナミックに表示します。

※「sRGB」または「あざやか」に設定すると、調整メニューの「色温度」は「標準」になります。

設定方法

調整メニューが表示されていない状態で、▼ / MODE ボタンを押します。ボタンを押すごとに、標準 → オフィス → sRGB → あざやか → 標準 … と切り替わります。

設定用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

製品情報の確認

モニターの型名、製造番号、使用時間を確認することができます。

1. モニターの電源を切る。
2. ▼ / MODE ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
3. 確認終了：MENU ボタン

? Memo

※使用時間は、工場での出荷時検査などで使用のために「0」になっていないことがあります。

画面の調整（アナログ接続時）

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■自動調整のための画面表示について

自動調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

Windows をご使用の場合は、付属 CD-ROM 内の調整用パターン（Windows 専用）が利用できます。

調整用パターン（Windows 専用）の呼び出し方

Windows 95/98/Me/2000/XP を基準に、CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

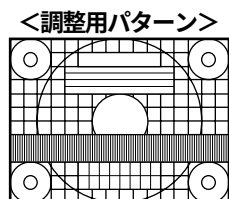
1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。

2. 「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。

Windows 3.1 の場合は、「ファイルマネージャ」を開き、「D ドライブ」を選択します。

3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

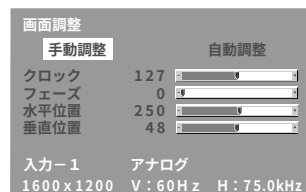
? Memo

※使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

■自動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。



2. ▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。

（これで自動調整は完了です。）

3. MENU ボタンを 5 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。

※ 1 回の自動調整では、正しく調整ができないことがあります。その場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返し試してみてください。

※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。（16 ページ）

- さらに微調整が必要なとき

- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき（画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。）

- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンなどのときなど（自動調整では正しく調整できないことがあります。）

※ 動画や MS-DOS プロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われなことがあります。

画面の手動調整

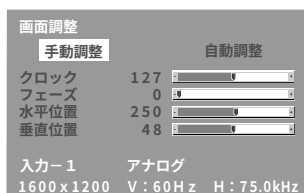
用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

1. 画面全体が明るくなるような画像を表示させる。

Windows をご使用の場合、付属 CD-ROM 内の調整用パターンを呼び出して、ご利用ください。（15 ページ）

2. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。



以降、必要な項目を調整します。

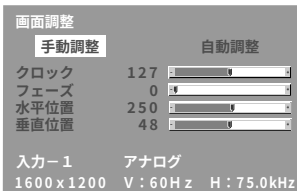
MENU ボタンを押すごとに、メニューが切り替わります。（画面調整→映像調整→カラー調整→モード選択-1→モード選択-2→メニュー表示消）

? Memo

※調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後、自動的に消えます。

※本書では、調整用パターン（Windows 用）を利用した調整のしかたを基本に説明します。

画面調整メニュー



手動調整... 必要な項目を手動で調整します。

自動調整... 各項目を自動的に調整します。

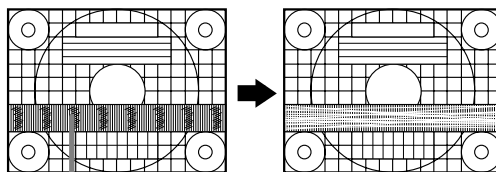
※ ► ボタンを押すと、「自動調整」の選択になります。

※ 項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※ 次のメニューへ : MENU ボタン

クロック

下図の部分に縦じま状のノイズが出ないように調整します。（◀ ▶ ボタン）

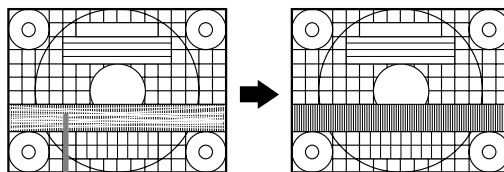


縦じま状ノイズ

フェーズ（位相）

下図の部分に横じま状のノイズが出ないように調整します。（◀ ▶ ボタン）

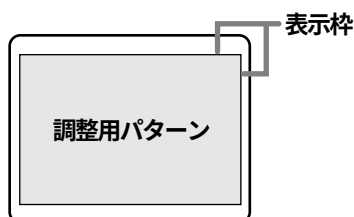
※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



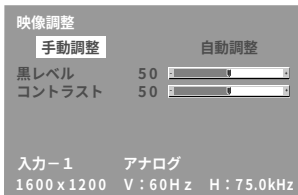
横じま状ノイズ

水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右（水平位置）、上下（垂直位置）の位置を調整します。（◀ ▶ ボタン）



映像調整メニュー



手動調整... 必要な項目を手動で調整します。

自動調整... オートゲインコントロール機能*で自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

※▶ ボタンを押すと、「自動調整」の選択になります。

※ 項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※ 次のメニューへ : MENU ボタン

* オートゲインコントロール機能

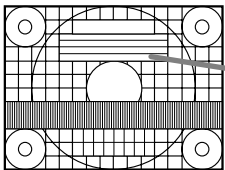
※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、黒レベル、コントラストが調整されます。調整用パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白色と黒色が表示されている必要があり、表示がない場合は正しく調整できないことがあります。

※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンの場合は、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。

※ 「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。（◀▶ ボタン）

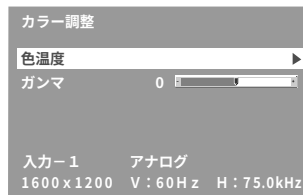


カラーパターン

コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。（◀▶ ボタン）

カラー調整メニュー

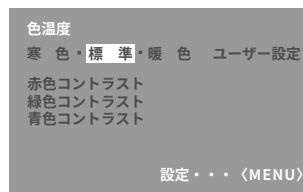


※項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※次のメニューへ：MENU ボタン

色温度

「色温度」選択後、▶ ボタンを押して、調整メニューを表示します。



※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

※表示モードが「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。

※◀▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選びます。

※「ユーザー設定」を選ぶと、「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

※▼ / MODE ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選びます。

※設定終了：MENU ボタン

- 寒色 標準設定よりも青みがかった色合い
- 標準設定よりもやや青みがかった色合い
- 標準 標準設定
- 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
- 暖色 標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

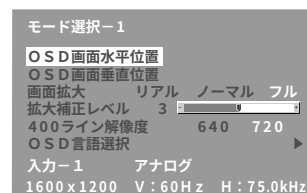
- 赤色コントラスト ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色
- 緑色コントラスト ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色
- 青色コントラスト ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

ガンマ

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。（◀ ▶ ボタン）

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、ガンマの設定はできません。

モード選択-1 メニュー



※入力信号の解像度によっては、項目の選択ができて
も、表示状態が変わらないことがあります。

※項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※次のメニューへ：MENU ボタン

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を左右に動かします。

（◀ ▶ ボタン）

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を上下に動かします。

（◀ ▶ ボタン）

画面拡大

1600 × 1200 ドット未満の表示モードの内容に対して、拡大表示の選択をします。（◀ ▶ ボタン）

リアル 拡大しない

ノーマル アスペクト比（縦横比）固定で拡大

フル 画面全体に拡大

※拡大しても 1600 × 1200 にならない場合は、周囲が黒く表示されます。（故障ではありません。）

拡大補正レベル

「画面拡大」が「ノーマル」または「フル」のとき、拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。（◀ ▶ ボタン）

400 ライン解像度

PC-9800 シリーズや US TEXT などの 400 ライン画面の水平解像度を設定します。（◀ ▶ ボタン）

640 : 640 × 400 ドットモード

（PC-9800 シリーズなど）

720 : 720 × 400 ドットモード

（US TEXT など）

※ 400 ライン以外の解像度の入力に対しては自動検出が行われますので、設定の必要はありません。

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

1) ▶ ボタンを押す。

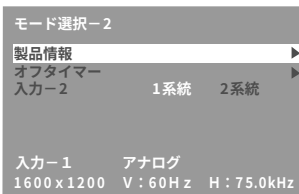
言語選択メニューが表示されます。

2) ▼ / MODE ボタンで言語を選択する。

3) MENU ボタンを押す。

モード選択-1 メニューに戻ります。

モード選択-2 メニュー



※項目の選択：▼ / MODE ボタン

※調整終了：MENU ボタン

製品情報

本機の型名、製造番号、使用時間を確認することができます。「製品情報」選択後、▶ ボタンを押します。
(調整終了：MENU ボタン)

オフタイマー

一定時間で本機の電源を自動的に切ることができます。「オフタイマー」選択後、▶ ボタンを押し、◀ ▶ ボタンで「する」「しない」を設定します。「する」の場合は、▼ / MODE ボタンを押し、◀ ▶ ボタンで切断時間（1～23時間の範囲で1時間単位）を設定します。(設定終了：MENU ボタン)

※「する」の場合、切断5分前から画面右上に残り時間が表示されます（1分単位で約5秒間）。

※残り時間の表示から電源が切れるまでの間に電源ボタンを押すと、一時的に自動切断が解除されます。以降、電源を切る場合は、もう一度電源ボタンを押してください。(次に電源を入れた後は、設定時間で自動切断されます。)

※「する」に設定されているとき、モニターの電源を入れると、設定時間が画面に数秒間表示されます。(入力信号が無い場合は「入力信号がありません」と表示されます。)

入力-2

本機のDVI-I入力端子（入力-2）にデジタル信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルを接続している場合は「1系統」、2入力用ケーブル（別売品）を接続している場合は「2系統」に設定します。

(◀ ▶ ボタン)

※接続と設定が合っていない場合、正しく表示されません。

画面の調整（デジタル接続時）

画面調整のしかた

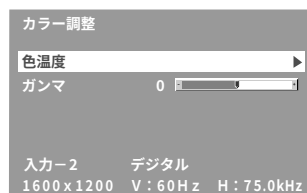
用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

1. 画面全体が明るくなるような画像を表示させる。

Windows をご使用の場合は、付属 CD-ROM 内の調整用パターンを呼び出してご利用ください。（15 ページ）

2. MENU ボタンを 3 回押す。

カラー調整メニューが表示されます。



以降、必要な項目を調整します。

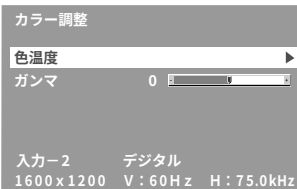
MENU ボタンを押すごとに、メニューが切り替わります。（カラー調整→モード選択-1→モード選択-2→メニュー表示消）

? Memo

※アナログ接続時と同様に、画面調整メニューと映像調整メニューも表示されますが、調整する必要はありません。

※調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。

カラー調整メニュー

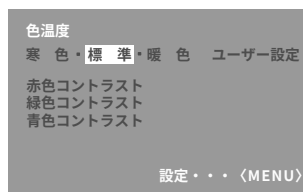


※項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※次のメニューへ: MENU ボタン

色温度

「色温度」選択後、▶ ボタンを押して、調整メニューを表示します。



※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

※表示モードが「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。

※◀▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選びます。

※「ユーザー設定」を選ぶと、「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

※▼ / MODE ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選びます。

※設定終了: MENU ボタン

- 寒色 標準設定よりも青みがかった色合い
- 標準設定よりもやや青みがかった色合い
- 標準 標準設定
- 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
- 暖色 標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

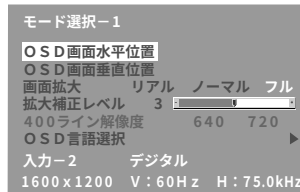
- 赤色コントラスト ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色
- 緑色コントラスト ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色
- 青色コントラスト ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

ガンマ

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。（◀ ▶ ボタン）

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、ガンマの設定はできません。

モード選択-1 メニュー



※項目の選択 : ▼ / MODE ボタン

※次のメニューへ: MENU ボタン

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を左右に動かします。
（◀ ▶ ボタン）

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を上下に動かします。
（◀ ▶ ボタン）

画面拡大

1600 × 1200 未満の表示モードの内容に対して、拡大表示の選択をします。（◀ ▶ ボタン）

リアル 拡大しない

ノーマル アスペクト比（縦横比）固定で拡大

フル 画面全体に拡大

※拡大しても 1600 × 1200 にならない場合は、周囲が黒く表示されます。（故障ではありません。）

拡大補正レベル

「画面拡大」が「ノーマル」または「フル」のとき、拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。（◀ ▶ ボタン）

400 ライン解像度

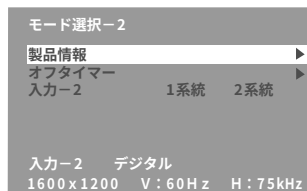
設定の必要はありません。

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

- ▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
- ▼ / MODE ボタンで言語を選択する。
- MENU ボタンを押す。
モード選択-1 メニューに戻ります。

モード選択-2 メニュー



※項目の選択：▼ / MODE ボタン

※調整終了：MENU ボタン

製品情報

本機の型名、製造番号、使用時間を確認することができます。「製品情報」選択後、▶ ボタンを押します。
(調整終了：MENU ボタン)

オフタイマー

一定時間で本機の電源を自動的に切ることができます。「オフタイマー」選択後、▶ ボタンを押し、◀ ▶ ボタンで「する」「しない」を設定します。「する」の場合は、▼ / MODE ボタンを押し、◀ ▶ ボタンで切断時間（1～23時間の範囲で1時間単位）を設定します。(設定終了：MENU ボタン)

※「する」の場合、切断5分前から画面右上に残り時間が表示されます（1分単位で約5秒間）。

※残り時間の表示から電源が切れるまでの間に電源ボタンを押すと、一時的に自動切断が解除されます。以降、電源を切る場合は、もう一度電源ボタンを押してください。(次に電源を入れた後は、設定時間で自動切断されます。)

※「する」に設定されているとき、モニターの電源を入れると、設定時間が画面に数秒間表示されます。(入力信号が無い場合は「入力信号がありません」と表示されます。)

入力-2

本機のDVI-I入力端子（入力-2）にデジタル信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルを接続している場合は「1系統」、2入力用ケーブル（別売品）を接続している場合は「2系統」に設定します。

(◀ ▶ ボタン)

※接続と設定が合っていない場合、正しく表示されません。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

！ ご注意

※シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。

※硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

? Memo

※本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（11 ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピュータと正しく接続されていますか。
（9 ページ）

※ コンピュータの電源は入っていますか。

※ 信号の入力端子は正しく選択されていますか。
（12 ページ）

※ 「モード選択 -2」の「入力 -2」は正しく設定されていますか。（19、22 ページ）

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（27 ページ）

※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（27 ページ）

※ アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。（15 ページ）

※ お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（27 ページ）

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（13 ページ）

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から1年間です（ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません）。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことで

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口はこの製品を「**お持ち込み**」のうえ、修理をお申し付けください。

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内（次ページ）

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- ・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談窓口** へ
- ・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2004年3月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

<受付時間> ※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 ※日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)



0570-01-4649

ナビダイヤル

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
 呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
 (注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
 下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／PHSの方は一般電話へ…………… 東日本地区 043-351-1831 西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

<受付時間> ※月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分(土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地	担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3-12-9
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19-1		三重	〒514-0102	津市栗真町屋田蒲池328
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1-9		富山	〒930-0906	富山市新庄北町5-63
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8-13		石川	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10	福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
青森県	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31-17		滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11-35
	青森	〒030-0121	青森市妙見3-3-4		京都府	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3-5-1		北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6-13
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2-8-16	大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反170-56		大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	岩手	〒020-0891	紫波郡矢野町流通センター南3-1-1		南大阪	〒597-0062	貝塚市沢1215
	釜石	〒026-0054	釜石市野田町1-10-32		北大阪	〒563-0043	池田市神田1-32-27
	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27		神戸	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
宮城県	山形	〒990-2332	山形市飯田2-7-43	奈良県	姫路	〒671-2222	姫路市青山5-7-7
	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33-1		奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ヶ丘37-10		和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
	新潟	〒950-0993	新潟市上所中1-7-21		南紀	〒646-0051	田辺市稲成町80-2
	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41	鳥取県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
新潟県	群馬	〒371-0855	前橋市閑屋町1-3-7		岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
	茨城	〒310-0851	土浦市千波町1963		岡山	〒690-0017	松江市西津田3-1-10
	さいたま	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2		広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	江東	〒130-0011	東京都豊田区石原2-12-3		広島	〒739-0142	東広島市八本松東4-3-30
千葉県	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15	山口県	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272-1
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17		山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5-5-4		東山口	〒744-0011	下松市西豊井173-1
	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2		香川	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
	千葉	〒270-2231	松戸市裕台295-1	徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中三島町3-11-14
神奈川県	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東2779-4		愛媛	〒791-8036	松山市高岡178-1
	木更津	〒292-0801	木更津市諸西2-5-22		高知	〒781-8104	高知市高須1-14-43
	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23		福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
	湘南	〒254-0013	平塚市田村4-14-36		福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野3-12-47
	相模原	〒229-1122	相模原市横山2-2-12	長崎県	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
山梨県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2-1-17		長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613-3
	静岡	〒424-0067	静岡市清水島坂1170番1		大分	〒870-0913	大分市松原町3-5-3
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11-4		熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476-2		天草	〒863-0021	熊本市新屋敷3-15-17
	松本	〒399-0002	松本市芳野8-14	宮崎県	宮崎	〒880-0007	宮崎市港町19-3
長野県	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1		宮崎	〒880-0021	宮崎市原町4-12
	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5		鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1-21		奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町8-1
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1		那覇	〒900-0002	那覇市曙2-10-1
愛知県	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1	沖縄県	先島	〒906-0013	平良市下里214-4

お客様相談センター

<受付時間> ※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 ※日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)

東日本相談室 電話 **043-299-8021** FAX 043-299-8280 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
 西日本相談室 電話 **06-6794-8021** FAX 06-6792-5993 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

仕 様

■製品仕様

機種名

LL-T2015-H (フロスティグレイ) / LL-T2015-B (ブラック)

液晶表示素子

20.1 型 (対角 51cm) TFT カラー液晶

最大解像度

UXGA 1600 × 1200

最大表示色

約 1677 万色 (8 ビット)

画素ピッチ

水平 0.255mm × 垂直 0.255mm

最大輝度

250cd/m²

コントラスト比

400 : 1

視野角

左右 176°、上下 176° (コントラスト比 ≥ 10)

表示画面サイズ

横 408mm × 縦 306mm

映像入力信号

アナログ: アナログ RGB (0.7Vp-p) [75 Ω]

デジタル: DVI 規格 1.0 準拠

同期入力信号

水平/垂直セパレート (TTL: 正/負)、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク (TTL: 正/負)

拡大補正

デジタルスケーリング (VGA/SVGA/XGA/SXGA などを UXGA に補正して拡大表示)
[拡大しない/アスペクト比 (縦横比) 固定での拡大/全画面拡大]

プラグ&プレイ

VESA DDC2B 対応

パワーマネジメント

VESA DPMS 準拠、DVI DMPM 準拠

コンピュータ信号入力端子

アナログ: ミニ D-sub15 ピン (3 列)

デジタル/アナログ: DVI-I29 ピン

高さ調整

調節範囲約 60mm

画面角度調整

チルト: 上向きに約 0 ~ 30°、下向きに約 0 ~ 5°
スイーベル: 左右に合わせて約 90°

電源

AC100V 50/60Hz

使用温度条件

5 ~ 35°C

消費電力

最大 53W、待機時 3W

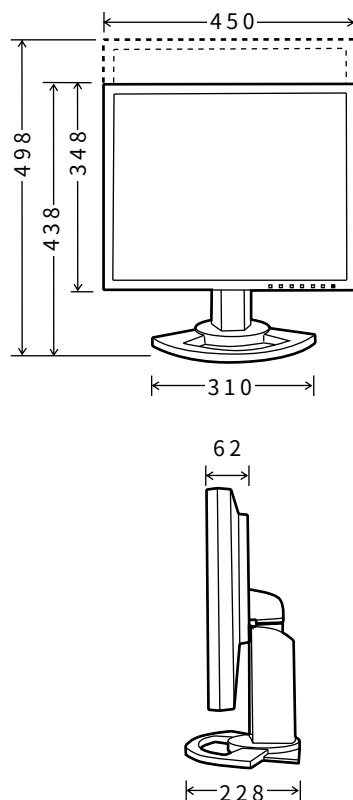
外形寸法

幅約 450 × 奥行約 228 × 高さ約 438 ~ 498mm

質量

約 9.8kg (ディスプレイ部のみ約 6.2kg)

■外形寸法図 (単位 mm)



付属のケーブルの長さ

アナログ信号ケーブル: 約 2.0m

デジタル信号ケーブル: 約 2.0m

電源コード: 約 2.0m

別売のケーブルの長さ

アナログ信号ケーブル NL-C02J: 約 2.0m

2入力用ケーブル NL-C03J: 約 0.25m

■対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	アナログ	デジタル
VESA ・IBM AT 互換機 ・PC-9800 シリーズ	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz	○	○
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz	○	○
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz	○	○
		43.3kHz	85Hz	36.0MHz	○	—
	640×400	37.9kHz	85Hz	31.5MHz	○	—
	720×400	37.9kHz	85Hz	35.5MHz	○	—
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	○	—
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz	○	○
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz	○	○
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz	○	○
		53.7kHz	85Hz	56.25MHz	○	—
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz	○	○
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz	○	○
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz	○	○
		68.7kHz	85Hz	94.5MHz	○	—
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz	○	○
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz	○	—
		91.1kHz	85Hz	157.5MHz	○	—
	1600×1200	75.0kHz	60Hz	162.0MHz	○	○
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz	○	○
PC-9800シリーズ	640×400	24.8kHz	56.4Hz	21.053MHz	○	—
		31.5kHz	70Hz	25.175MHz	○	○
Power Macintosh シリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz	○	—
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz	○	—
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz	○	—
	1152×870	68.7kHz	75Hz	100.0MHz	○	—
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	—
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz	○	—
	1600×1200	75.0kHz	60Hz	162.0MHz	○	—
Sun Ultra シリーズ	1024×768	48.3kHz	60Hz	64.13MHz	○	—
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz	○	—
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz	○	—
	1152×900	61.8kHz	66Hz	94.88MHz	○	—
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz	○	—
	1280×1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz	○	—
		81.1kHz	76Hz	134.99MHz	○	—
	1600×1000	68.6kHz	66Hz	135.76MHz	○	—

※推奨解像度は、1600×1200です。

※すべてノンインターレースのみの対応です。

※ Power Macintoshシリーズ、Sun Ultraシリーズの各周波数は、参考値です。また、本機との接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。

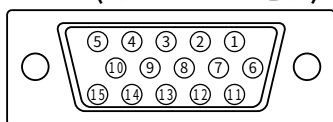
※デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ちUXGA出力が可能なコンピュータと接続できます。（接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）

※本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。

※本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

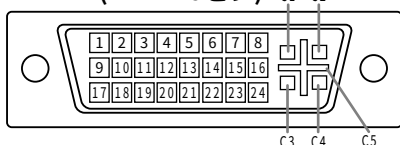
(ミニD-sub15ピン)



番号	機 能	番号	機 能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	GND
4	GND	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ DVI-I 入力端子のピン配列

(DVI-I29ピン)



番号	機 能	番号	機 能
1	TMDSデータ2-	16	ホットプラグ検知
2	TMDSデータ2+	17	TMDSデータ0-
3	TMDSデータ2/4シールド	18	TMDSデータ0+
4	N.C.	19	TMDSデータ0/5シールド
5	N.C.	20	N.C.
6	DDCクロック	21	N.C.
7	DDCデータ	22	TMDSクロックシールド
8	アナログ垂直同期信号	23	TMDSクロック+
9	TMDSデータ1-	24	TMDSクロック-
10	TMDSデータ1+	C1	アナログ赤映像信号
11	TMDSデータ1/3シールド	C2	アナログ緑映像信号
12	N.C.	C3	アナログ青映像信号
13	N.C.	C4	アナログ水平同期信号
14	+5V	C5	アナログGND
15	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS (※ 1)、DVI DMPM (※ 2)、Energy Star (※ 3) に準拠しています。

本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータも VESA DPMS 規格や DVI DMPM 規格に適合している必要があります。

※ 1 DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	53W	あり	あり
STANDBY	無表示	3W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

※ 2 DMPM : Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	53W
Active OFF	無表示	3W

※ 3 Energy Star :



当社は国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの基準に適合していると判断します。

『国際エネルギースタートプログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

■ DDC (プラグ&プレイ)

本機は、VESA の DDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、モニターとコンピュータのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC 2B に対応しています。

セットアップ情報とICCプロファイルについて (Windows)

お使いのコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報をインストールしてください。(お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

ICC プロファイルとは…

ICC (インターナショナル カラー コンソーシアム) プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICC プロファイルに対応したアプリケーションで色の再現性を高めます。

※ ICC プロファイルは、Windows 98/2000/Me/XP に対応しています。

※ Windows 98/2000/Me/XP でセットアップ情報をインストールすると、ICC プロファイルも同時にインストールされます。ICC プロファイルだけをインストールしたいときは、31 ページの「ICC プロファイルのインストール」をご覧ください。

※ ICC プロファイルを使用する場合は次のように設定してください。

- ・「表示モード」「色温度」:「標準」
- ・「ガンマ」:「0」

■セットアップ情報のインストール

Windows 95 の場合

Windows 95 に本機のセットアップ情報をインストールします。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows 98 の場合

Windows 98 に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニター」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」 ボタンをクリックし、「設定」 から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows Me の場合

Windows Me に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」 ボタンをクリックし、「設定」 から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows XP の場合

Windows XP に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICC プロファイルを既定値として設定します。

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:\」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROM をCD-ROM ドライブから取り出す。

■ ICC プロファイルのインストール

本機のICC プロファイルをインストールします。

(セットアップ情報をすでにインストールしている場合は、プロファイルも同時にインストールされていますので、この操作は不要です。)

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所をCD-ROM にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. CD-ROM をCD-ROM ドライブから取り出す。

※ ICC プロファイルを使用する場合は次のように設定してください。

- ・「表示モード」：「色温度」：「標準」
- ・「ガンマ」：「0」

ColorSync プロファイルについて (MacOS)

ColorSync プロファイルとは…

ColorSync はアップル社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションで色再現性を実現するための機能です。ColorSync プロファイルには液晶モニターの色再現特性を記述しています。

※本機の ColorSync プロファイルは、MacOS 8.5 以降に対応しています。

※ ColorSync プロファイルを使用する場合は次のように設定してください。

- ・「表示モード」「色温度」：「標準」
- ・「ガンマ」：「0」

ColorSync プロファイルの設定方法

※システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

※ご使用のコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. CD-ROM 内の使用するプロファイルを、システムフォルダ内の ColorSync プロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルの ColorSync で、使用するプロファイルを選ぶ。

VESA 規格準拠アームの取り付け方

VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

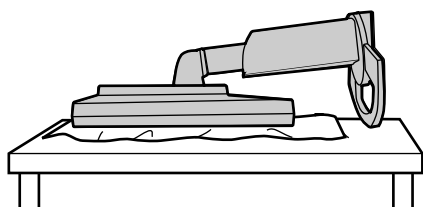
※本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。

- ・ VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のネジ穴間隔が 100mm × 100mm のもの
- ・ モニターを取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

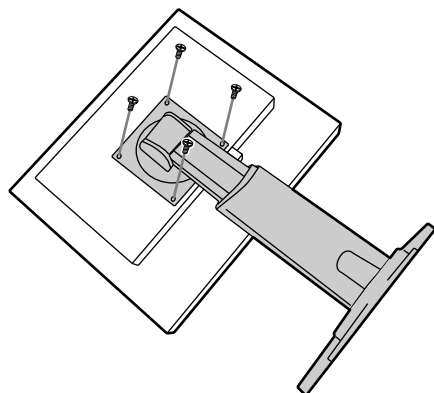
※本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

1. ケーブルを取り外す。
2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。
3. モニターを傷つけないように、表示部を下向きにして静かに置く。



ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持って、静かに倒してください。
本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

4. ネジ（4 本）を外して、スタンドを外す。



※スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

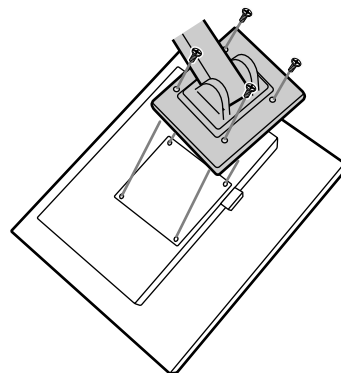
※取り外したネジは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。



スタンドを分解しないでください。

注意 部品が飛び出して、けがの原因になることがあります。

5. アームをネジ（4 本）で固定する。



※固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが 6 ～ 8mm の M4 を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。

6 ～ 8mm



アーム固定用ネジ

アーム

モニターのアーム取り付け部

MEMO

(TINSJ1055MPZZ)

●製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター	東日本相談室	TEL 043-299-8021	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6794-8021	FAX 06-6792-5993
《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）			

●修理のご相談は・・

25ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

●シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/crisia/>

(2004年3月現在)

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地